



自然と人間社会が共生する只見町

議会だより

No.182

令和8年1月23日発行
2026 JANUARY



**火の用心
上手に書けました！**

(表紙の説明は12ページへ)

- 議会報告会開催 2~4
- 水道・農集排料金値上げへ 6
- 9名が町政を問う！一般質問 ... 13~22

只見町議会中継は、只見町議会
ホームページからも視聴できます。
議会中継へ→



多くの提言を頂きました

11月30日に只見、朝日、明和公民館で議会報告会を実施しました。

今回は「議員定数と報酬」をメインテーマに多くのご意見をいただきました。いただいたご意見を参考に検討してまいります。

議員定数と報酬についてのご意見

只見・朝日・明和会場

- *「選挙により目的を明確にした議員を選びたい」との気持ちから議員定数は8名程度が良い。忙しくなった分議員報酬を上げてはどうか。
- *議員を目指す人が増えるくらいに議員報酬を上げたらどうか。
- *今、議員定数を議論するのは何故か。議員は町民の声を幅広く反映させるために減らすべきではない。
- *選挙により目的を明確にした議員を選びたい」との気持ちから議員定数は8名程度が良い。忙しくなった分議員報酬を上げてはどうか。
- *町民288人当りに議員一人の割合だ。近隣他町村と比べても議員数が多い。他町村と比較すると10名程度が適当だ。
- *通年議会の実施に伴い、議員の拘束日数が増えているのでは。報酬の議論がされていない。協議すべき。
- *議員のなり手不足の原因はなにか、協議しているか。
- *現在の12名にした時は人口が5339人だった。現在の人口を考慮すれば削減すべき。
- *定数を削減し、現在の議会費を上げることなく報酬を上げてはどうか。
- *議員は選挙で選ばれるべき、議会は十分な討議のできる人数を確保すべき、両方の側面から議員定数を議論してほしい。

*議員定数は削減しなくてもよいが、女性議員を増やせる体制づくりを。

*議員定数の検討は議会基本条例に沿った形で検討すべき。

*現在の定数で十分な議会対応ができていたかどうかの検証が先ではないか。その上で議員定数を考えるべき。

*議員を目指す環境が整っていない。環境づくりが大切だ。

議会の対応

現在議会では、議員報酬と定数を考える特別委員会を検討しており(9ページ参照)、今回いただいたご意見を参考に慎重に審議し、年度内には結論を出したい。議員報酬については、「特別職報酬等審議会」の答申を受けて条例改正案が議決され、決定となる。



議員定数と報酬に

その他のご意見

只見会場

* 昨年各集落において報告会、座談会をすると言っていたが実施されていない。公約実現の努力は。

* 公共施設の管理計画のスピードアップを議会からも問いかけてほしい。

* 只見川の河川改修の予算付けがされていない。災害時を振り返り、県への要望を積極的に実施してほしい。

* 叶津に金山町の案内看板が掲げられた。役場や議会はどう考えているか。

* 「八十里越え」開通へ向けた受け皿体制の強化を。

朝日会場

* 「八十里越え」開通までに「駅前複合施設」は完成するのか。

* 小学校統合は小中一貫校になるのか。

* 「湯ら里」は今後どうなるのか。

* 「湯ら里」が債務超過になっていることを町民は理解しているか。

* 不適切な補助金の返還命令に、議会としての対応は。

* 各議員は町づくりをどうするか、競い合っているのか、競い合っていないのか。

明和会場

* 孤立住宅の解消、融雪災害の陳情に対し、議会としての誠意が見受けられない。集落維持のため、今後も運動は続けていく。

* 議会としての監視や審議に町民の声が届いていない。各議員が何を目的に議員活動をしているか伝えてほしい。

* 議会としての公聴機能が欠けているのではないか。

* 各集落を回り意見を聞くような議会になってほしい。

* 「湯ら里」の状況はどうなっているか。毎年資金援助することにならないように監視してほしい。

* 小学校統合により空いてくる校舎建物を芸術大学への無償貸し出しはできないか。誘客や地域おこしにも繋がると思う。

議会の対応

今回頂いたご意見は、各委員会に割り当てし重要な提言と受け止め協議する。

最後に

今回の議会報告会もたくさんの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。頂いたご意見・ご提言を重く受け止め、より開かれた議会を目指します。次回も多くの方々のご参加をお待ちしております。ありがとうございました。



契約議決**只見地区ライスセンター設備工事始まる!!****1億7930万円**農産物集出荷施設整備工事
請負契約が議決される。**朝日診療所歯科の
設備更新****747万円**歯科用デジタルカメラX線装置の
老朽化による設備更新。**一般会計補正予算****有害鳥獣対策に増額補正予算 412万円**

クマの出没件数激増のため、実施隊員の出勤回数の増による。(駆除頭数過去最高の95頭)

只見駅前複合施設整備事業設計の予算議決される!!設計委託料 **7266万円**

(詳細については、8ページに掲載)

陳情

陳情案件 — 朝日地区冬期町道除雪におけるロータリー除雪車増車の陳情

=採択= (詳細については、10ページに掲載)**今後の町づくりの指針…新たに策定される!!****基本
理念****つなぐ未来へ 人と、町と、自然と ともに**
～ともに生き、ともに想い、ともに創る 自然とともに～今後の町づくりの新たな指針として第8次只見町振興計画基本構想
(令和8年～令和17年度)及び前期基本計画(令和8年度から令和12年度)が策定され議決された。
計画の内容は、概要版が各戸に配布される。**こども誰でも通園制度が制定**令和8年4月から全国で実施される制度で、乳児等通園支援事業に関する条例が制定された。
生後6か月から満3歳未満の幼児で保育所等に入所するまで、月10時間まで利用が可能な制度。**只見町の水道・農集排の使用料金が増額へ!!****只見町水道条例・只見町農業集落排水処理施設設置条例の改正**水道使用料は令和2年から6年ぶり、集落排水使用料は平成22年から15年ぶりに改定されることになった。改定された使用料金は、令和8年11月の検針分から適用される。
(詳細については、6ページに掲載)

一般会計補正予算

介護タクシー利用 助成事業補助金の増額 **130万円**

町外医療機関への利用が多くなったことによる増額。

1人2万円の 商品券を配布 **7813万円** (町内利用商品券発行事業委託料)

物価高騰経済支援対策として、国の重点支援地方交付金による町民1人あたり2万円分の町内利用商品券が配布される。配布予定時期は3月頃の予定。

物価高対応 子育て応援手当を給付 **824万円**

児童手当に1人2万円が上乗せ給付される。支給は現在の児童手当受給者及び令和8年3月31日までに生まれた子の児童手当受給者が対象。新生児および公務員は、申請により支給となる。

契約議決 —財産の取得 **1億2449万円**

只見ライスセンター（農産物集出荷施設）の付帯設備等備品一式の購入

陳情

陳情案件 — 蒲生公民館解体工事の経費負担に係る陳情について

=不採択= (詳細については、10ページに掲載)

統合時期

令和11年度目標（新校舎を整備完了後に統合）

統合校の場所

只見中学校エリアを想定。幼小中教育を効果的に実践できる環境を目指す。通学時間が延びることによる児童への負担をできるだけ少なくすることも必要。

校舎の更新

中学校併設型小学校を想定。朝日小学校の校舎は老朽化が進んでおり、只見中学校校舎を活かすことで効率的な運用が実現できると考える。

特別支援教育の充実

特別な支援を必要とする児童生徒への教育環境を整えることは重要なことである。小中学校の教職員組織が一体化することで、切れ目のない継続的な支援を推進する。

放課後子どもクラブへの対応

放課後や長期休業期間に統合後も活動場所を確保し、地域全体で親子の学びや育ちを支えながら対応していく。

小学校統合の 基本構想が示される！

只見町小学校改革審議会の「速やかに統合すべき」の答申を受け、総務常任委員会に基本構想が示されました。限られた紙面では全文を載せられないため、抜粋して掲載します。全文はQRコードよりご確認ください。



水道・農集排 使用料金値上げ

12月会議において水道・農集排使用料金改定案が示され可決されました。現行料金のままでは施設運営・事業維持が困難になる旨の説明があり、議会からは料金改定までに町民への周知、支払回数の変更、漏水対応等にも十分な配慮をしていくよう意見が出されました。新料金は令和8年11月から適用されます。

答申書 (抜粋)

近年の物価高騰等の影響から使用料の見直しがされないと今後の運営に支障をきたすことが予想されることから、町は今年8月『只見町水道事業及び農業集落排水事業運営審議会』へ諮問し、答申が出され料金改定の条例が提案された。

現状、電気契約の見直し通信機器の更新、経費削減をしてきたが、物価上昇、世帯数減少等の社会情勢の変化により、水道使用料・農業集落排水施設

共に使用料のみでの運営経費を賄うことが困難な状況となっており、将来的な施設維持や更新も必要とされることから料金の値上げはやむを得ない。

新料金

水道使用料 (円)

項目	現行	改定後	差額
基本料金(月額)	1200円	1700円	500円
超過料金(m ³)	150円	200円	50円

農業集落排水使用料 (円)

項目	現行	改定後	差額
基本料金(月額)	2200円	2500円	300円
超過料金(m ³)	220円	250円	30円

近隣町村との比較

※値上げしても只見町は低料金

改定後 水道使用料 (水道メーター13mm)

No.	町村名	基本料金	超過料金
1	只見町	1700	200
2	柳津町	1859	184
3	三島町	1991	209
4	昭和村	1925	198
5	下郷町	2080	190
6	金山町	2120	203
7	南会津町	2200	220

改定後 下水道・集落排水使用料

No.	町村名	基本料金	超過料金
1	昭和村	1600	140
2	柳津町	2000	—
3	三島町	2190	240
4	只見町	2500	250
5	南会津町	2805	209
6	金山町	3300	—
7	下郷町	4190	180

全員協議会において、季の郷・湯ら里をめぐる経営状況や制度的課題、議会・行政・運営会社の役割について説明がありました。議会では共通認識を形成し、今後の検討課題を整理することを目的として※自由討議が開催されました。

※自由討議とは、議会活動の充実と活性化を図るため、当該議題等に関する問題点を浮き彫りにし様々な観点から論点を整理し、議員間の理解を深めることを目的とした会議です。

会社経営の状況と

今後の見通し

個別論に入る前提として、倒産の一般的定義や弁済義務の考え方が確認された。債務超過のみでは直ちに倒産とはならず、資金ショートにより事業継続が困難となる状態が判断

基準であるとの認識が共有された。弁済義務は借入名義や保証契約に基づき判断されるべきで、法的手続や専門家判断を踏まえた慎重な対応が必要とされた。

組織・責任体制の整理

指定管理制度について制度の基本が議論された。運営は指定管理者の自律性を原則とし、公費は公共性の高い非収益部分への対価であり、赤字補填ではないとの理解が共有された。議会は経営への

直接介入はできないが、指定管理や予算審査、説明責任を通じた監視の役割を担うと整理された。施設の大規模修繕など所有者として町が担う範囲との切り分けが重要な論点とされた。

施設の意義と今後の方向性

季の郷湯ら里は観光・交流・町民福祉の拠点であると同時に、町内宿泊施設の減少を背景に宿泊の受け皿として重要性が増していることが確認された。

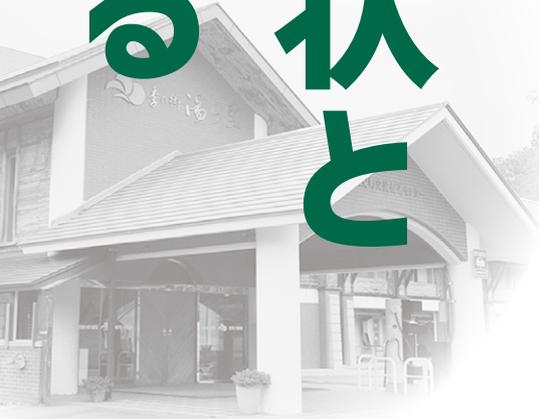
一方、むら湯は福祉的性格が強く、宿泊部門とは機能や収支構造が異なるため、部門別の切り分けと可視化が課題とされた。

関係者との連携と今後の選択肢

経営改善計画の分かりやすい説明と情報開示、議会と当局の合同勉強会の実施が提案された。参考人招致や調査特別委員会の活用については賛否が分かれ、議会権限や手続整理が

前提とされた。今後は、公金投入基準とガバナンス(企業統治)を明確化し、現在計画中の駅前複合施設においても同様の課題を繰り返さない体制構築が求められるとまとめられた。

湯ら里の現状と未来を考える



駅前複合施設補正予算可決

国道289号八十里越の開通に向け、整備が予定されている駅前複合施設整備事業の設計予算が示され、質疑応答が行われました。補正予算額は7266万円

総事業費として16億3000万円（当初想定では13億8000万円。1億5000万円の増額）

当初予定されていなかった開発許可申請や建築資材などの物価高騰により事業費が増加。令和7年8月に基本計画改訂版が示されたが、事業スケジュールが当初より遅れていることや、指定管理料の積算根拠、開設時期、収支計画等に意見が出た。

施設内にローソンの提案が

10月24日に大手コンビニチェーンの株式会社ローソンより、複合施設への出店案が示されました。全員協議会にて過疎地域における社会背景を元に目指す姿、将来的な可能性、店舗事例や取り組み事例の紹介があり、質疑応答が行われました。

ローソンの取り組み事例（抜粋）

- 地域密着型店舗の出店を増加、買い物困難者の解消を掲げる。
- ローソン直営ではなく、地元オーナーを募る。
- 低投資、低コスト、フードロス対策。
- 欲しい商品を欲しいだけ／地産地消／地域店舗と連携しサービスの提供。
- スーパー跡地に行政と連携して出店。
- 地元商品なども一部販売。
- コミュニケーションスペースの設置。
- 無人型店舗の実施事例あり。

ローソンの今後の展開

- オンライン診療と連携し、薬や処方箋の受け取り。
- 移動販売、買い物支援制度、見守り協定との連携。

激論の末、 議員定数は2名削減の方向へ

11月30日に「議員定数と報酬」をメインテーマに議会報告会を開催し、1月13日に第5回となる只見町議会定数と報酬に関する調査特別委員会が開催されました。区長27名の皆様に第三者機関として協力いただき、「議会と議員活動の客観的な評価」をアンケート形式で回答をいただきました。各議員がその結果を参考にし、採決に臨みました。

委員会調査結果

議員定数：10名

議員報酬：時代にあった報酬になるよう、特別職報酬等審議会に町長からの諮問[※]を求める。 ※諮問とは、(法令上定められた事項についての)意見を尋ね、求めること。

委員会審議経過

1回目の採決：議員定数を削減する

賛成：7名 (角田、菅家、平山、小沼、矢沢、鈴木、齋藤)

反対：3名 (酒井、目黒、山岸)

反対討論2名

目黒「定数が減少すれば、民主主義が劣化する。議会の多様性が重要。若い女性が住みやすい町には当事者の議席が必要。狭き門でない方が良い。」
酒井「目黒委員と同様の考え。加えて議会機能の本質である監視・提言機能が低下する。議員を減らしても何も解決しない。」

賛成討論1名

鈴木「議員は選挙で選ばれるべき。前回が無投票になった結果を重く受け止めたい。」

採決後、少数意見の留保の発生があり、賛成者が2名であったため成立。委員長報告の際に、少数意見も報告されることとなった。

2回目の採決：議員定数を10名とする

賛成：8名 (角田、目黒、平山、小沼、山岸、矢沢、鈴木、齋藤)

反対：2名 (菅家、酒井)

反対討論1名

菅家「人口(定数)が減っても、自分たちが変わることによって機能を維持できることを町民に見せたい。10人では議会機能が低下するだけだが、8人だと強化できる。正解のない問いに挑戦する姿勢が明るい未来につながる。」

賛成討論1名

鈴木「菅家委員の内容は理解できるが、12名から8名では混乱が大きい。定数を絞りすぎると、議会運営に支障が出る危険性を考慮しなければならない。」

各委員の主張まとめ

議員定数	委員名
現状維持 12名	酒井、目黒、山岸
2名削減 10名	角田、平山、小沼、矢沢、鈴木、齋藤
4名削減 8名	菅家



区長27名(第三者機関として)に依頼した議会の評価アンケートまとめ

報酬については、只見町特別職報酬等審議会に一任する。

● 蒲生公民館解体

工事の陳情を不採択

・ 陳情 7-16 陳情書
蒲生公民館解体工事の経費負担に係る陳情について

には多額の経費が必要であり集落での自己資金では限度がある状況

も推察される。更に審査の経過の中で、町内に蒲生集落と同様の管理形態の集落も存在することも確認された。同じ管理形態を有する集落の同様の事案への対応も含めて、集落の負担軽減のための措置を講ずる必要がある。

- ・ 陳情者 蒲生区長 馬場 博美
- ・ 審査結果 不採択
- ・ 審査理由

本件は蒲生公民館解体工事の経費負担に係る支援措置の陳情であった。

対象施設の集落での利用状況と管理経過の外、現地調査を行い陳情案件の集落負担にかかる集落施設整備にかかる条例等との整合性を確認、審査した結果、対象施設の解体は対象外との結論となった。しかしながら、解体



蒲生公民館現地調査

● 宮城県大崎市・

福島県三春町視察

駅前複合施設事業が動き出すことを見据え10月30日、31日に視察を実施。

宮城県大崎市「道の駅おおさき」は住宅街の中心にあり災害時の防災拠点、

地域住民向けの施設整備、運営方針など地域に根差した道の駅づくりが展開されていた。

福島県三

春町「アウ

トドアヴィ

レッジ三春

はモンベル

ショップ及



「道の駅おおさき」防災かまどベンチの説明を受ける委員

びアウトドアフィールド建設に対する町の明確な考えを町内関係機関に示されており、今後の只見町の計画にも活かせるものと考ええる。

採択

・ 朝日地区冬期町道除雪におけるロータリ

ー除雪車増車の陳情

陳情者

朝日地区幹事会社
有限会社ジオ・サイ

クル 代表取締役
酒井敏紀 他3社

採択理由

増車をすることで町道除雪の効率化、作業時間の短縮及び稼働時間の平準化が図られ作業環境の改善が期待できる。聞き取り調査の結果、オペレーター及び担当者間で町内全体のロータリ路線の見直し等綿密な協議を実施しており、令和8年度実施に向け準備をしていきたい。このことから採択とした。

請願・陳情

● 議会報告会の 協議・実施

日程を協議し11月30日に決定し、議会だより181号の背表紙に掲載した。テーマは「議員定数と報酬」とした。議会報告会当日は多くの町民から様々なご意見をいただき、町民の関心の高さを感じられる報告会となった。各議員は「定数と報酬の特別委員会」での決断に参考にすべき内容になったと捉えている。

● 2年間の委員会 活動の振り返り

委員会で取り組むべきことは全て取り組んだ結論となった。委員会の権限を越えていることに関しては別の場所で議論を深めることとした。

● 議会報告会 実施要項の見直し

実情に則し、改正をするべき箇所を検討した。議会運営委員会に
然るべき時に議題に挙げることにした。



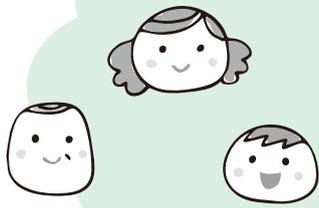
議会報告会只見会場

● 東部クリーンセンターの 整備予算可決

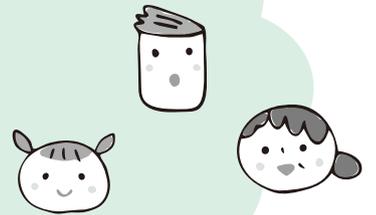
令和7年10月3日に第2回臨時会が開会された。
内容は次のとおり。
1億1374万円を議決。

- 組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び育児休業等に関する条例改正の専決処分が報告された。
- 指令システム機能維持更新業務委託にかかる製造請負契約
- 東部クリーンセンターのバグフィルター及びダクト更新工事に関する特別会計補正予算を議決。
- 上記バグフィルター及びダクト更新工事にかかる工事請負契約5170万円を議決。





町民の声



町のこと、議会のことについて想いを寄せていただきました。

議会だよりを読んで

Q 議会だより18号の中で一番興味があった記事はなんでしたか？

A 見開きの歳出と歳入、湯ら里の経営状況悪化、増資案可決の記事かな。興味ではないが、表紙の写真は毎回素晴らしいと思います。

Q その理由をお伺いします。

A 最近の議会だよりは見やすくて分かり易い。興味があったページは、どちらも町民誰しもが関心をもっていると思う。湯ら里に関しては経営改善案の内容も気になるので、可能なら全ページ掲載して欲しい。

Q 今後どのような記事が載せてほしいですか？

A 広報ただみでは掲載していない(できない？しない？)詳細な情報、町民の興味を引く記事や提案があれば助かります。表紙の写真は子どもを継続してもらいたい。

Q 今後、町や議会に望むことやご意見を伺います。

A 経済状況的にどこも苦しいのは分かるが、来年には八十里越の開通もある。只見町を通過点で終わらせるのではないよう、一層の努力をお願いしたい。(70代男性)

Q 議会だより18号の中で一番興味があった記事は何でしたか？

A 子どもに関わる仕事をしている関係から「若者たちの目線」は毎号読んでいます。子どもたちの成長を感じられて良いなと思います。

Q 今後どのような記事が載せてほしいですか？

A いま只見町はヤバイのかイケてるのかを知りたいです。

Q ヤバいとは、財政面でですか？

A そうですね、財政面ということになりますが、行政的な言葉は普段使わないのでわかりやすい言葉で知らせてもらえたらと思います。

Q わかりやすさ、心掛けたと思います。さて、町や議会に望むことやご意見をお聞かせください。

A 私は埼玉県から移住してきました。父が只見町出身で、いわゆる「孫ターン」です。町に望むというわけではないのですが、只見町に5年住んでみて、そろそろ同世代の友人が欲しいなと思うようになりました。

A 20代人口は少ないです。若者同士が知り合うきっかけは欲しいですね。



馬場なな子さん (20代)

表紙の写真に想う

只見町の冬の風物詩「火の用心」の一コマです。

数え6歳になる子ども、その保護者は正月から待ったなしの大仕事です。どのご家庭でも子どもは「書きたくな〜い!」と泣き叫び、親は口八丁手八丁のお菓子で機嫌をとっていることと思います。これからも長く続けていきたい風習ですね。



各議員のところにQRコードを付けてみました。

一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！

*注 2名が一緒の録画動画になっています。



ブナりん

一般質問者席

一般質問

- **小沼 信孝**14
今後の鳥獣対策は
- **角田 誠**15
交流促進センターの今後は
- **矢沢 明伸**16
移住・定住～生活基盤の整備を
- **菅家 忠**17
渡部町長の考えていることとは
- **平山真恵美**18
小学校統合と一貫教育の展開は
- **酒井 右一**19
朝日診療所の医療体制は
- **鈴木 好行**20
使用していない町有地の有効活用を
- **齋藤 猛**21
深沢温泉、緊急停止時の対応は
- **山岸 国夫**22
診療所の夜間及び入院病床の再開を

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

町政を問う

町を想い9名が

今後の鳥獣被害対策は

答 鳥獣被害対策実施隊と共に



おぬまのぶたか
小沼信孝 議員

問 本年の鳥獣捕獲頭数、農業被害状況は。

答 カラス4羽・キジバト1羽・アオサギ4羽・カワウ29羽・ハクビシン11匹・タヌキ7匹・クマ95頭・イノシシ3頭・サル11頭・ニホンジカ18頭、農業被害状況は経営面積3ha以上の稲作農家15経営体に聞き取り、水稲30haにイノシシ、クマ、サルの進入被害があった。

問 農作物の被害に
対する町の支援はないのか。

答 農作物に対しては町の支援はないが、電気柵の設置の有無が被害に大きく影響することがわかっており、現在の補助金制度において限度額拡充をしたい。

問 クマ出没による町の観光には影響はないか。

答 「ただみの森キャンプ場」にクマ出没によるキャンセルがあった。

問 町も専門員か専門担当者置き
しっかりとした対応が必要ではないか。

答 「ツキノワグマ緊急銃猟対応訓練」が会津若松市で開催される。担当職員が出席し、来年度に向けて鳥獣被害対策実施隊や関係機関と協議を重ね体制を整えたい。

問 鳥獣被害対策実施隊からは、出勤の際に業務用無線機などの通信機器の装備が必要と聞く、来年度駆除隊編成の際までにそろえるべきだと思いが。

答 検討していききたい。

問 サルの追い払い花火の効果は一時的、実弾による駆除、

追い払いは一定の効果があるようだ。値上がり等で負担増になるようなので、ある程度の支援をする必要があるのではないかと。

答 実弾への補助はいかがなものか。

問 実弾の補助という
ことではなく、
駆除隊への支援額を増やすという考えでお願いしたい。駆除隊の人

材不足を考えると罾の見回りも大変。センサーやカメラのついた罾も必要ではないか。駆除隊としっかりと話しをして支援していくことが大切だと思う。

答 いくつか支援策の提言を頂いたことに対し、努力していきたい。



熊罾設置状況

交流促進センターの今後は

答 改善計画に理解を得てから取り組む

問 来年4月で開業30年を迎えるが、大規模修繕の時期では。

答 観光に対する姿勢を見習うべきかどうか。

答 湯ら里の資金ショートは議会報告会でも質問があったが、町民は詳しく知らないし、聞かれることも多い。都合の悪いことは町民に知らせないのか。

問 湯ら里の資金ショートは議会報告会でも質問があったが、町民は詳しく知らないし、聞かれることも多い。都合の悪いことは町民に知らせないのか。

答 提案し、説明し、理解を得る姿として議決がある。それに努力していく。

答 今後導入予定である只見町公式ラインアプリなどでのリアルタイムでの情報伝達も含めて消防団とも協議していく。

答 お質しの通りであるが、経営改善計画を精査し、議会と町民に理解を得てから示したい。町として責任と計画を持ち実施したい。

問 湯ら里は看板がないから客が入らないなど、主たる要因ではない経営分析をしている。看板を一つ

答 湯ら里は看板がないから客が入らないなど、主たる要因ではない経営分析をしている。看板を一つ

問 湯ら里は看板がないから客が入らないなど、主たる要因ではない経営分析をしている。看板を一つ

答 湯ら里は看板がないから客が入らないなど、主たる要因ではない経営分析をしている。看板を一つ

問 湯ら里は看板がないから客が入らないなど、主たる要因ではない経営分析をしている。看板を一つ

問 湯ら里は看板がないから客が入らないなど、主たる要因ではない経営分析をしている。看板を一つ

答 湯ら里は看板がないから客が入らないなど、主たる要因ではない経営分析をしている。看板を一つ

問 湯ら里は看板がないから客が入らないなど、主たる要因ではない経営分析をしている。看板を一つ

答 湯ら里は看板がないから客が入らないなど、主たる要因ではない経営分析をしている。看板を一つ

問 湯ら里は看板がないから客が入らないなど、主たる要因ではない経営分析をしている。看板を一つ

答 湯ら里は看板がないから客が入らないなど、主たる要因ではない経営分析をしている。看板を一つ



つのだ 角田 まこと 誠 議員



湯ら里は開業30年、大規模改修の時期迫る

防災機能の拡充を

答 只見町公式ラインの運用を検討中

問 消防団のための防災アシスタアプリ「SAFE」の導入検討を。

答 より多くの方に参加してもらえる様に開催日程も含めて検討したい。活用できる取り組みに努める。

問 防災マップを活用した住民参加型の防災訓練が実施されたが、参加人数が乏しかった。消防団員や医療関係者に参加を促し、情報共有を図り、日々の防災に役立てるべきでは。

移住・定住 ～生活基盤の整備を

答 地域に応じた生活基盤の充実に努める



あきののぶ
ざわ
矢沢明伸 議員

問 第八次只見町振興計画の町民アンケートに「安心して住める只見町」「移住してこられた方も住みやすい町に」という声は、移住する側にとっても重要な判断材料である。U・イターン、定住の重要な視点、町づくりの根幹となる生活基盤の整備をどう考えるか。

答 山村の暮らしは、都市部と違い多少の不便は生じます。「不便でも困らない」生活基盤を考えて

いくことがこの地域では大事であり、今後地域環境に応じた生活基盤の充実に努めていく。

問 移住施策を具体的に対応する窓口、相談など町関係各課の横断的な連携による対応が必要でないか。

答 ワンストップでの情報提供、安心していただける体制も必要と認識している。現在移住コーディネーターを配置し移住相談に対応している。

問 移住、即空き家に直結するのではなく、定住促進住宅などを活用し、住みながら仕事住まいを見つけていくなどの流れが必要でないか。

答 今、只見町は人材対策として住宅政策が必要になってくる。空き家ありきでは

なく、定住促進住宅なども選択肢の一つ。皆でお迎えする機運が大切。「ここは人柄が素晴らしい地域です」と移住された方の言葉。これは、地域全体の魅力の賜物と感じている。

問 只見町はトマトなど新規就農される方、地域での協力が大きい。定住には雇用の場が必要。人口減少、地域を支える目的で設立された特定地域づくり事業協同組合に雇用されている方の評価の言葉もある。移住施策を進める中で地域の雇用とセット

答 移住されてこられた方々が只見町に何を望んでこられたのか。来られた方の声を活かし、地域の人材として地域を支え、担っていたり、出たことなど進めていきたい。



移住・定住 地域の雇用の輪を広げよう

渡部町長の考えている「共」とは

答 町全体が家族。心豊かに暮らしていける姿を描いている

問 政治家 渡部勇夫としての理念、哲学は。

答 町長に就任以来、今日までの事務・事業は、自然との共生を誇とし、第七次振興計画に掲げた「ブナと生きるまち 雪と暮らすまち 心豊か

に生きるまち 自然首都只見の挑戦」という最上位計画の基本理念に基づいている。

その上で「共感と行動」を自身の価値観として肝に銘じ、日々の行政運営にあたっている。

問 第八次振興計画のキーワード「共」の真意は。

答 「つなぐ未来へ人と、町と、自然とともに」とともに創る自然首都・只見」が基本理念である。「個」がしっかりと

て「共」ができるようになる。第六次七次で個ができ、第八次で「共」の段階に発展した。

問 町長 渡部勇夫としての「まちづくり」とは。

答 町民が安心して暮らしていける、次につながる地域をつくることだと考えている。急速な人口減少と過疎化という全国共通の課題の中、この現実を直視し、未来へつながる「長く続く町」を皆様と共に描き、共に努力していきたい。

問 渡部勇夫が見えている2050年の只見町の姿とは。

答 25年先を見通すことは大変難しいが、いくつか挙げる。

世界的に環境への関心や自然志向が進む中で、ユネスコエコパークを持つ当町の強みは更に増すと予想される。自然や文化の学びの地として「自然首都・只見」が定着・形成されていると考える。

只見町は、電源開発と共に大きな発展を遂げてきた。「八十里越」の開通は、ダム建設に続く町発展の大きな契機になるものと考ええる。交流圏域が広がり、町の経済、町民の暮らしの利便も大きく向上していると考ええる。

人口は減少するが、若者など関係人口が町を支え、心豊かに暮らしていける町の姿を描

き、それに向かったまちづくりを皆様とともに努力していきたい。



ただし 議員 忠 家 菅



「個」がしっかりと初めて「共(公)」になれる

小学校統合と 一貫教育の展開は

答 町全体で学校づくりを進める



ひらやま ま え み
平山真恵美 議員

問 小学校統合をどのように位置づけ、進めるのか。

答 児童数減少を見据えた新しい教育の始まりと捉えている。統合までの期間は、町民・保護者・子どもたちが安心して新しい環境へ移行できるような、対話と情報共有を重ねる重要な準備期間と考えている。

問 統合までの期間を、対話の場としてどのように生かすのか。

答 住民説明会や保護者説明会を通じて教育の方向性について理解を深めてきた。今後は学校づくり準備委員会を設置し、この期間を熟議の場と位置づけ、町民や保護者、子どもたちと意見交換を行いながら、教育ビジョンの策定や只見らしい学校づくりを具体化していく。

問 小学校統合後に目指す学校像は只見の自然や文化を生かし、ESDや「只見学」を中核とした学びを進める。地域資源を生かした教育を通じ、持続可能な社会に貢献できる人材の育成を目指す。

答 小学校統合後に目指す学校像は只見の自然や文化を生かし、ESDや「只見学」を中核とした学びを進める。地域資源を生かした教育を通じ、持続可能な社会に貢献できる人材の育成を目指す。

幼小中高の連携と育ちの支援は

答 育ちと学びを一体で支える体制を構築する

問 幼小中高の連携と、特別支援を含めた育ちの支援をどのように進めるのか。

答 小学校統合を契機に、認定こども園から高校までの連携を強化し、子ども一人ひとりの学びと育ちを切れ目なく支える体制を構築する。特別な

支援を必要とする子どもについては、教育委員会と福祉・医療など関係機関が連携し状況に応じた支援を行う。地域・家庭・学校・行政が一体となり、すべての子どもが安心して過ごせる環境づくりを進める。

問 小中一貫教育と教員の連携をどのように図っていくのか。

答 一貫教育の連続性を生かし、学習状況や生活面の課題を適切に情報共有することで、教職員が互いに連携しながら子どもたちを支えていく。



日常の中で重ねられる学びが子どもたちの成長を支えていく

朝日診療所の医療体制は

答 従来の体制を最終目標としている

答 朝日診療所は町内唯一の医療機関であり、外来に加え、救急や入院を含めた従来の体制を最終目標としている。その方向性を示す朝日診療所基本計画を、町の振興計画との整合を図りながら現在策定中であり、完成後は公表する予定である。

問 朝日診療所は本町唯一の医療機関であるが、現在、休日・夜間救急や入院医療が行われておらず、町民から強い不安と不満の声が上がっている。高齢化が進み、冬季は豪雪となる本町において、診療所の医療機能低下は命に直結する問題である。なぜこの状

況が長期化しているのか伺う。

答 最大の要因は医師数の不足である。現在は常勤に近い医師二名体制で、外来診療を維持するのが精一杯の状況であり、救急や入院対応まで担うことは難しい。

問 医師確保について、町はどのような取り組みを行っているのか。また、この状況をやむを得ないものと考えているのか率直に伺う。

答 福島県や県立医科大学、医療人材紹介会社と連携し、三人目の医師確保に継続して取り組んでいる。現状を固定化させる考えはなく、改善すべき課題として認識している。

況が長期化しているのか伺う。

最大の要因は医師数の不足である。現在は常勤に近い医師二名体制で、外来診療を維持するのが精一杯の状況であり、救急や入院対応まで担うことは難しい。

問 町民が最も知りたいのは、診療所がこのままの状態なのか、それとも以前のような体制に戻るのかという点である。朝日診療所の将来像をどう描いているのか伺う。

問 町民が安心してできるように朝日診療所基本計画を明示し、診療所の将来像を明確にして、改善への道筋が見える形で示すことが重要だ。

答 町民の不安を重く受け止め、医師確保と医療体制の回復に向け引き続き取り組んでいく。



さか い ゆう いち
酒井 右一 議員



医療体制の回復を望む

使用していない 町有地の有効活用を

答 適正な管理に努める



すずき よしゆき
鈴木好行 議員

問

町には使用せず
に空き地のまま
放置している町有地が
見受けられる。今後も
小学校統合や認定こど
も園の整備により、更
に増加することになる。
「第2次国土利用計画
只見町計画」に沿って
管理されているか。

答

計画は町土利用
の方向性を定め
ている。管理について
は適正な管理となるよ
うに努める。

問

町有宅地を移住
希望者に提供す
るとか、企業誘致に役



町有空地の有効利用を

答

立てるため、町ホーム
ページに情報を掲載し
てはどうか。

問

老朽化により、
本来の使用用途
を満たしていない医師
住宅などの今後は。

答

どのような方法
ができるか検討
したい。

問

礼堂住宅など複数の建
物が利用されていない
ので、順次解体したい。
小学校の統合
後、残された校
舎の有効利用計画はい
つまでに示されるか。

答

いくつかの提言
もあるが、町民
や議会の意見を参考に
早期策定に努める。

八十里越え開通、 インバウンド対応は

答 今後計画的に進める

問

「八十里越え」
開通を見据えた
インバウンドに向けた
取り組みは。

答

グーグルマップ
上の情報整理、
看板・パンフレットな
どの多言語対応、Wi-Fi
整備など計画的に
進める。

問

旧八十里峠道や
浅草沼の平周辺
の整備計画、トイレ、
駐車場の整備計画は。

答

ガイドを伴うト
レッキングを推
奨し、登山道整備と併
せて整備する。トイレ
は旧消防只見出張所跡
地に計画しているが、
八十里峠には計画して
いない。

問

「ユネスコエコ
パーク」「ネイ
チャーポジティブ宣言」
「包括連携協定」をど
のように活用するか。

答

「ネイチャーポ
ジティブ宣言」
は企業版ふるさと納税
の推進に、「ユネスコエ
コパーク」は研究フィ
ールドに活用したい。
「包括連携協定」は活
動の場所として来町さ
れている。

深沢温泉、緊急停止時の対応は

緊急停止を防ぐ方策を調査研究

問 深沢温泉は源泉ポンプの緊急停止により長期休業が発生した。緊急停止後の修繕対応となっているが、今後の対応方針は。

答 現在は、緊急停止後に業者へ連絡し、予備ポンプと交換している。業者の日程の確保が難しいため

復旧が長期化している。今後は、定期的なメンテナンスにより、緊急停止を防ぐ方策を費用対効果を踏まえて調査研究していく。

問 長期休業は、観光、町民の福祉に影響している。「むら湯」が果たす「観光・交流」「町民の福祉・健

康」の役割をどう考えるか。

「季の郷湯ら里」は都市農村交流、「むら湯」は町民福祉を目的とした施設で、観光客にも利用されている。福祉と観光に資する施設として維持していく。

答 「季の郷湯ら里」は都市農村交流、「むら湯」は町民福祉を目的とした施設で、観光客にも利用されている。福祉と観光に資する施設として維持していく。



議員 猛 藤 とう さい 齋



定期的なメンテナンスを「むら湯」

鳥獣被害対策の今後は

地域ぐるみの被害対策を充実

問 緩衝地帯の整備は効果が見られずと考えるが、隣接私有林の間伐を進め、鳥獣対策と薪ボイラー用原料としての活用、あわせてエゴマ栽培の導入などの鳥獣対策を進める考えはあるか。

答 町補助金により緩衝地帯整備を行った。里山林整備は県事業として下草刈り等を実施しているが、杉林の間伐材を木質エネルギー活用は所有者、集落と協議し調査・検討していく。

また、エゴマは重点振興作物として奨励制度を設けており、被害防止に有効であれば、取組を支援し獣害対策として活用を検討していく。

問 鳥獣被害防止計画の進捗状況と課題、今後の対策は。

答 クマの出没が相次ぎ安全確保が課題。被害は全体に減少傾向だが、サル被害は拡大している。今後は捕獲体制の強化と電気柵への支援を進め、集落ぐるみで持続的な被害対策に取り組んでいく。

診療所の夜間及び入院病床の再開を

答 引き続き医師確保に取り組む



やまぎし くに お
山岸 国夫 議員



人員確保が急がれる

問 診療所の現状は、月曜から金曜日の日中の診療が実施されている。しかし夜間及び土・日祭日は

休診であり町民の不安は計り知れない。極端に言えば、無医村状態にある。午後5時以降の診療と入院病床の再開について町長の考えを問う。

答 複数の常勤医師による総合的な医療を目指し、引き続き医師の確保に取り組む。

問 診療所の人員配置計画に基づく定数は、医師4名・看護師14名他検査技師・

事務職・歯科がある。この基準に変化ないか。

答 令和7年までの第一次基本計画に示されている人員数

問 医師確保の答弁で明確な数字が示されていない。

答 令和8年度からの第二次朝日診療所基本計画策定を急ぐ。

問 新潟県知事は、柏崎刈羽原発6、7号機について再稼働を容認すると表明した。福島第1原発事故から約15年たつが、いまだ事故は収束せず、廃炉の見通しも立っていない。福島第1原発から直線距離で約140kmにある只見町

答 定数条例での保険福祉センターと診療所の総枠は23名。(診療所の医師・看護師の配置人員は)具体的には弾力的に行う。

柏崎刈羽原発の再稼働への町長の考えは

答 只見町防災計画に基づき備えていく

問 看護師は現在9名。この間退職者がいたが引き止めなかったのか。

答 本人申し出の意向を尊重した結果である。

問 新潟県知事は、柏崎刈羽原発6、7号機について再稼働を容認すると表明した。福島第1原発事故から約15年たつが、いまだ事故は収束せず、廃炉の見通しも立っていない。福島第1原発から直線距離で約140kmにある只見町

内においても山菜等の出可制限があり経済的損出や郷土料理に影響を及ぼしている。福島第1原発事故直後に只見町区長連絡会が新潟県知事と東京電力に柏崎刈羽原発の再稼働に反対の申し入れを行った。只見町は柏崎刈羽原発から直線距離で約

70kmに位置し、風向きによっては飯館村と同じような放射能の影響を受ける可能性大である。刈羽原発の再稼働について町長の考えは。

答 町民の安心・安全を最優先に考え、只見町防災計画「原子力対策編」に基づき備えていく。



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.46



アカシヨウちゃん

人口減少と 議員定数について



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami



ブナりん 多くの議会で人口が減少して議員定数について話し合いがされているみたいだね。只見町も年々人口が減っているけど議員定数の協議はしていないの？

議長 只見町議会でも議員定数について、特別委員会を開いて協議しているところだよ。

ブナりん 只見町も議員の人数を減らしていくの？

議長 人口が減っていること、なり手不足など社会情勢を考えたりして慎重に協議しているところだよ。



アカシヨウちゃん 只見町は以前、定数を削減した時から約2000人減っていると聞いたけど、今回は大幅に定数を減らす考えなのかな？

議長 特別委員会の意見では、「現状の定数を維持することで若者の選択肢を増やし、チャレンジできる人が増えることが望ましい」「定数を減らし選挙が無かったことを重く受け止めるべき」「無投票当選は町民の信託も得ていない」など、現状維持、削減した方が

良い、多くの意見が出され協議しているところだよ。

イワっぺ じゃあ、まだ定数は現状か削減か決まっていないんだね。いつ頃までに決まるの。



議長 特別委員会では、町内の区長さん全員にアンケートをお願いしたり、議会報告会での意見も参考にして結論をなるべく早めに出していく方針だよ。

ブナりん 議員定数を変えるということには、たくさんの良いこと、悪いことなど問題もあると思うんだよね。町の代表として町民の声を町政に伝えてもらう重要なお仕事をする人達の人数を決めるのだからしっかりと話し合いをしてね。

議長 決まった定数でしっかりとした議会運営が大切だね。

※1月13日の特別委員会での調査結果は、2名削減の方向となりました。



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから
視聴できます。



若者たちの目線 vol.46

只見町って
なじよだや？

只見のよいところ



只見中学校

1年 五十嵐星渚

僕が只見のいいなと思
うところはたくさんあり
ます。

一つ目は、人が優しい
ところですよ。僕が、毎朝
学校に行くときや学校か
ら帰るときに「おはよう」
や「おかえり」など、優
しい言葉をかけてくれる
人がたくさんいます。
二つ目は、自然ですよ。
毎年冬になると、雪まつ
りというお祭りがありま
す。雪まつりは只見だけ
か

らこそできる祭りです、と
ても楽しむことができま
す。

只見にはたくさん他の
の地域にない魅力がある
のいいところだと思います。

ひとこと

皆さんに挨拶してもら
えると、こちらも嬉しい
ですよ。

僕が思う只見町のよいところ



只見小学校

6年 佐藤優依斗

一つ目は、豊かな自然
ですよ。ユネスコエコパ
クの只見にしかない両

生類やブナ林の多さなど
日本でも有数のこの自然
は宝物ですよ。
二つ目は、人が優しい
ところですよ。いつも地域
の人から温かい挨拶が聞
こえるだけでなく、只見
線に乗っている人へ手を
振ったり、手を振っても
らったりするしぐさに優
しさを感じます。

ひとこと

都会に行くと、只見の
水の美味しさがわかるよ
ね。

三つ目は、水ですよ。お
いしいだけでなく、冬に
たくさん降った雪は、春
に雪解け水になり、ダム
にたまって発電や農業に
使われています。だから、
僕は只見町が大好きです。

編集後記

新年あけましておめでとうございませ
う。今年には待望の「八十里越え」が早ければ
秋には開通となります。それに伴い「駅前
複合施設」の建設設計が進みます。また、
小学校の統合や認定こども園の施設整備の
構想など、これからの町の将来を決める重
要な一年となります。
私たち議会も皆様の声を活かし、よりよ
い町を次世代に引き継ぎできるように邁進
してまいります。
本年もよろしくお願いたします。
(鈴木好行委員)



発行責任者

議長 佐藤 孝義

広報広聴常任委員会

委員長 菅家 忠

副委員長 目黒 道人

委員 鈴木 好行

委員 小沼 信孝

委員 矢沢 明伸

委員 角田 誠

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL：0241-82-5300 FAX：0241-82-5222 E-Mail：gikai@town.tadami.lg.jp